

問 現行の長期総合計画の終期は平成29年度末であるが、なぜ1年前倒しで本年度中に新計画を策定するのか。

答 近年、我が国を取り巻く状況は大きく変動し、新たな諸課題への速やかな対応が求められています。そのため、この先10年間の戦略を一から練り直して、県民の皆様に総合的な指針を早期

問 新和歌山県長期総合計画の策定

答 現行の長期総合計画の策定を1年前倒ししました。県民の皆様や市町村のご意見を広く伺い、また県外で活躍されている有識者のご意見も併せて踏まえながら、誰もがいきいきと暮らせ、元気を持続できる和歌山の創造に向け、強い熱意と覚悟を持って取り組みます。

政策

問 和歌山県ならではの「ケアファーム」の検討を

答 オランダでは、自然の中で農作業を行うことによって身体の健康増進や社会参加の意識の醸成を図るケニアームがある。和歌山県ならではのケアファームの形

に示すことが重要と考え、計画の策定を1年前倒ししました。県民の皆様や市町村のご意見を広く伺い、また県外で活躍されている有識者のご意見も併せて踏まえながら、誰もがいきいきと暮らせ、元気を持続できる和歌山の創造に向け、強い熱意と覚悟を持って取り組みます。



答 ケアファームの取り組みについては、農家の多角経営や休耕田の利活用につながることなのでよい話であると考えますが、専門性、ノウハウ、人材確保などの面で解決すべき課題も多く、オランダの事例も踏まえて引き続き研究していきます。

問 このたびの熊本地震で、一般住宅の倒壊により大きな被害が出ている。住宅耐震改修で関心が持たれている耐震ベッドや耐震シエルターについてどれだけ予算化されているのか。

答 耐震ベッドと耐震シエルターは、平成27年度から補助対象に加えていました。27年度、28年度とともに、合計50戸分の予算を計上して

災害対策

問 災害時の避難所の運営について、各市町村に對してどのような支援をしているのか。また、車中泊についてどう対応するのか。

答 平成25年に避難所規模に応じた「市町村避難所運営マニュアル作成モデル」を策定して市町村へ助言するとともに、わかやま防災力パワーアップ補助事業によ

ります。今後もより一層、住宅の耐震化の必要性と補助制度の周知を図ることによって耐震化を推進してまいりたいと考えています。

問 災害時の避難所運営について、各市町村に對してどのような支援を行っているのか。また、車中泊についてどう対応するのか。

答 災害時の避難所運営に応じた「市町村避難所運営マニュアル作成モデル」を策定して市町村へ助言するとともに、わかやま防災力パワーアップ補助事業によ

り避難所の資機材整備や自主防災組織による避難所運営訓練の支援を行っています。また、車中泊は、エコノミーラス症候群により命を失う危険等があり、現行のモデルでは原則認めていませんが、熊本地震の状況を踏まえ、危険性の周知等について記載し、充実を図る必要があると考えています。

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

問 和歌山県ならではの「ケアファーム」の検討を

答 オランダでは、自然の中で農作業を行うことによって身体の健康増進や社会参加の意識の醸成を図るケニアームがある。和歌山県ならではのケアファームの形

問 現行の長期総合計画の策定を1年前倒しして取り組みます。

答 現行の長期総合計画の策定を1年前倒ししました。県民の皆様や市町村のご意見を広く伺い、また県外で活躍されている有識者のご意見も併せて踏まえながら、誰もがいきいきと暮らせ、元気を持続できる和歌山の創造に向け、強い熱意と覚悟を持って取り組みます。

問 このたびの熊本地震で、一般住宅の倒壊により大きな被害が出ている。住宅耐震改修で関心が持たれている耐震ベッドや耐震シエルターについてどれだけ予算化されているのか。

答 耐震ベッドと耐震シエルターは、平成27年度から補助対象に加えていました。27年度、28年度とともに、合計50戸分の予算を計上して

問 災害時の避難所運営について、各市町村に對してどのような支援を行っているのか。また、車中泊についてどう対応するのか。

答 災害時の避難所運営に応じた「市町村避難所運営マニュアル作成モデル」を策定して市町村へ助言するとともに、わかやま防災力パワーアップ補助事業によ

り避難所の資機材整備や自主防災組織による避難所運営訓練の支援を行っています。また、車中泊は、エコノミーラス症候群により命を失う危険等があり、現行のモデルでは原則認めていませんが、熊本地震の状況を踏まえ、危険性の周知等について記載し、充実を図る必要があると考えています。

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

6月定例会の概要

6月2日～21までの20日間

一般質問議員 15人

6月10日(金)	6月13日(月)	6月14日(火)	6月15日(水)
山下 菅原 中本 川畑	岩田 岩井 堀 片桐	弘彦 弘次 龍雄 章浩	太史 隆司 峰雄 光夫
直也 博之 浩精 哲哉	長坂 中西 雑賀	藤山 松坂 花田	将材 英樹 健吉

会期中の主な動き

■特別委員会の開催

- 半島振興・地方創生対策特別委員会 (6/10)
- 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会 (6/13)
- 防災・国土強靭化対策特別委員会 (6/14)
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (6/15)

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件 (知事提出)	1件	平成28年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件 (〃)	10件	和歌山県税条例の一部を改正する条例等	同意
人事案件 (〃)	3件	和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて等	可決
その他案件 (〃)	5件	平成28年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
知事専決処分報告 (〃)	1件	和歌山県税条例の一部を改正する条例	承認
意見書	7件	地方財政の充実・強化を求める意見書	
		総務省統計局及び独立行政法人統計センターの本県への移転に関する意見書	
		待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書	
		次期介護保険制度改革における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続を求める意見書	
		食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書	
		骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書	
		精神障害者への旅客運賃割引制度適用を求める意見書	

問 親の介護や子育てで優秀な人材が離職することを防ぎ、災害時には在宅で職務を行うことができるテレワークについて、県が率先して導入はどうか。

答 県職員の仕事は、企画的、非定型的、対人応応的な業務が多くて一部の業務を切り出しにくい面もあり、情報保護や業務管理など解決すべき課題もありますが、やれることはどんどんやっていきたいと思います。

県職員へのテレワーク導入

